

# なくせ！原発 安心して住み続けられる福島を

11月2日、ふくしま大集会が開催され、なくせ！原発・核燃三八連絡会からバス等で40人が参加、地労連からも、年金者組合、県教組、青銀労組、社会福祉事業団労組などから7人が参加しました。

ふくしま大集会には福島県内及び全国から七〇〇〇人が参加しました。会場には、地域と団体のテントが立ち並び(70のブース)、困難でつらい状況が続く現状と解決への思いを語る様々なイベントが行われていました。農民連を中心とした物産・直売コーナーもたくさんあり、がんばる福島を感じました。集会では、首都圏原発連合のミサオ・レッドウルフさん、日本共産党書記長の市

# 三八地労連

## ニュース

三八地方労働組合総連  
合発行 ● 2013年 11月  
11日 ● 第135号 ● 八戸  
市柏崎 1-10-34  
☎・Fax 0178-47-8886

秘密保護法案反対！民主主義を守ろう

**集会场の様々なテントで交流**  
と手をつなぎ、前へ進もう」との集会アピールを採択した後、市内のアピールパレードを行いました。  
バスでは、往路は学習やうたい、帰路は自己紹介や感想を述べあいながらすごし、充実した1日となりました。

**社保協キャラバン実施**  
今年の自治体訪問キャラバンは10月28日から、三八各町村への訪



田忠義さん、浪江町議会議長の小黑敬三さんがあいさつし、福島復興・除染、汚染水垂れ流しやめよ、いますぐ原発ゼロへ等と述べました。「手

問は10月30日と31日に行われまし  
た。主な要求は、生活保護制度改悪  
反対、国保料(税)の引き下げと制度  
の改善、介護の充実の3点で、こ  
のことにの自治体の状況や考  
え方を聞き、また住民本位の制度改  
善をといた私たちの考えを説明しな  
がら懇談を行いました。行動には、  
県社保協と三八社保協に参加してい  
る医療生協や生健会、新婦人、年金  
者組合、三八地労連などから12人  
と14人が参加しました。各自治体  
からは国保・介護の担当者が出席、  
文書や口頭での回答がなされまし  
た。今回の懇談では、田子町で新た  
に高齢者の肺炎球菌ワクチン助成が  
始まり三八7市町村中5市町での  
実施となったこと、風疹ワクチン助  
成が全町村で進んでいることが分か

りました。また、国保の広域化や道  
州制についての疑問が表明されるな  
ど、地域を守る自治体の気概を感じ  
ることができました。ただ、生活保  
護制度については町村が直接には業  
務を担当していないこともあり、制  
度の改悪を許してはならないとい  
う私たちの訴えに、「回答・コメント  
を述べる立場にない」と紋切り型の  
発言を行った自治体があったことは  
残念です。

新郷村では須藤良美村長も出席し  
て、地域を守るための村政を行って  
いると述べ、村民を雇用しての事業  
や子どもの「お小遣い」給付、学校  
給食費の無料化等の施策を紹介しま  
した。

なお、八戸市との懇談は11月12  
日に行われます。

### 年金者一揆八戸集會開催

年金切り下げ反対の声を集めよう  
と16日、八戸ポータルミュージア  
ムはつちで年金者一揆八戸集會が開  
催されました。年金者組合や新婦人、  
八戸生健会、三八地労連等8団体に  
よる実行委員会の主催で開かれ、大  
雨・暴風警報発令中にもかかわらず  
33人が参加しました。

さんは、200万人の年金生活者の  
世論で政治を変えていこう、そのた  
めに行政不服審査請求の取り組みの  
大運動をと呼びかけました。八戸生  
健会の神田洋一さんは、8月に開始  
された、3年で6.5%にも達する生  
活保護費切り下げと現在仙台高裁で  
闘われている青森生存権裁判に触  
れ、社会保障を守る取り組み推進を  
訴えました。新婦人八戸支部の清野  
克美さんは、会として行った年金ア  
ンケートの深刻な内容を紹介し、年  
金切り下げ反対の取り組みを共に進  
めていきたいと述べました。

高橋靖昌実行委員長はあいさつ  
で、2.5%切り下げの不当性とその  
後に予定されているマクロ経済スラ  
イドについて述べ、高齢者の暮らし  
を守るために社会保障再生・充実の  
方向に流れを変えようと訴えまし  
た。年金者組合三八支部の佐藤正博

最低保障年金の導入や審査請求の  
呼びかけ、安心して暮らせる年金制



- 度確立に向けて奮闘する集会アピ  
ルを採択し、最後は、あゝ人生に涙  
ありや故郷をみんなで歌って連帯を  
深めました。
- 【当面の日程】
- 11月12日 社保協キャラバン③
  - 15:30 八戸市庁集會
  - 11月19日 幹事会⑤
  - 18:30 教組事務所
  - 12月6日 6・9行動
  - 12月14日 県労連評議員会
  - 13:00 コープあおもりのいけ店
  - 14:00 県教育会館
  - 12月19日 幹事会⑥
  - 18:30 教組事務所
  - 12月29日 1月5日事務所休業
  - 1月17日 地労連旗びらき
  - 18:30 友の会福祉会館(旧三八  
教育会館)

# 行政不服審査請求一年金者給

今年10月から開始された2.5%の年金切り下げに対して、年金者組合は行政不服審査請求の取り組みを準備しています。

年金者組合三八支部は11月11日の支部委員会で、具体的な取り組みを学習し、組合員だけでなく広く年金受給者に審査請求よびかけることにしています。

10月からの切り下げは、12月13日支給分から反映されますが、12月初旬に通知が届き、その日から60日以内に不服審査請求を行うこととなります。審査請求は社会保険審査官(東北厚生局に設置、仙台)に対して行われ、1月末に、年金事務所を通じて提出する予定です(いつせい行動の予定)。

裁決結果に不満な場合は、厚労省内に設置された社会保険審査会宛に再審査請求をすることができ、また、裁決に対しての訴訟が可能となります。年金者組合中央本部は、再審査請求の詳細や裁判については、あらかじめ提起することとしています。

## 高校授業料無償化継続を

安倍内閣は臨時国会に高校授業料無償化を廃止する法案を提出しました。中身は、①現在の公立高校授業

料無償化と私立高校の就学支援金制度を一本化し、②所得制限を導入して高所得者には支給しないというものです。

高等教育の授業料無償化は世界的潮流であり、国連の「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」では「高等教育は：無償教育の漸進的な導入により」、「能力に応じ、すべての者に対して均等に機会が与えられるものとする」とされています。子どもの教育を受ける権利の保障として行われている授業料無償化をやめ、所得制限を導入することは、教育についての考え方の原則が間違っているのではないでしょう。また、所得証明書の提出・集約など、保護者と学校に非常に煩瑣な新たな業務を持ち込むものです。高所得者に負担をと言うのであれば税による負担を、低所得者対策としては給付制奨学金制度をつくるべきです。

## 2013年度自治体要望書(案)

幹事会は10月24日、今年度の自治体要望書(案)を確認しました。新しい要望事項と前年度からの変更点(傍線部)は左記の通りです。ご意見は、各組合の執行部または地労連事務局(47-8880)に、11月18日までにお知らせください。なお、前年度と同じ部分は紙面の都合で省略しました。全文は各組合宛に送付しています。

的困難から薬代の自己負担が払えない、また、治療を中断するといった事例が増えています。高知市は2012年4月から独自に、全国で初めて無料低額診療制度利用者に薬代を助成する措置に踏み切りました。青森市では、2013年7月から助成となりました。八戸市においても、「薬局の無料低額診療事業」を行うために、高知市や青森市のような助成制度を行うよう求めます。

### ※新しい要望

○説明 無料低額診療事業は社会福祉法による(25年)成立。この時代、薬局は病院の中にあり、無料低額診療制度の対象だったが、医薬分業によって院外に出たため事業の対象外となった。ちなみに、無料低額診療で免除・減免された患者の医療費は、事業を行っている医療機関の持ち出しだ。患者が健康保険に加入していれば、持ち出しするのは患者負担だけでよいが、無保険の場合は医療費の全額を医療機関がカバーすることになる。無料低額診療の適用事業所は固定資産税などの優遇は受けられるものの、診療報酬の削減で厳しい経営を迫られている今、決して楽なことではない。無料低額診療事業は、「目の前の患者を見捨てることはできない」という医療者の良心によって支えられている側面も大きい。

## 2014年 旗びらき

日時 2014年1月17日(金)  
会場 友の会福祉会館中ホール  
(旧三八教育会館)  
会費 2,000円  
申込 各組合or地労連47-8886

かけて下さい。また、国の責任で30人以下学級を実現するよう国に働きかけて下さい。さらに、市独自予算で「育みプラン」の対象外の小中学校全学年を33人以下学級にできないものか検討するようお願いいたします。その場合に必要な予算を教えてください。

※傍線部は追加(現在は小1〜3と中1が33人以下学級)

⑮ 給食費の無償化を検討してください。七戸町では五千万円の予算で給食費の無償化に踏み切ったそうですが、八戸市で実施した場合、どれくらいの予算が必要になるのか教えてください。

### ※新しい要望

⑳ 全炉心にMOX(混合酸化物燃料)プルトニウム燃料を装荷することが予定されている危険な大間原発は中止すべきです。30km圏内である函館市の強い中止要求にかんがみ、政府と電源開発に対して工事の中止を求めて下さい。

※語句の削除(原発ゼロを求める国民世論や)と修正

㉑ 平和首長会議加盟自治体として「原子爆弾被害の実態を広く市民に認識させるため」の取り組みをすすめてください。その一環として、日本被団協作成の「原爆と人間」パネルの購入をお願いします。

※語句の削除(青森、弘前等の例示)と修正

